平成30年度 事 業 報 告

（平成３０年４月 ～ 平成３１年３月）

Ⅰ.法人の概況

1. 設立年月日　平成20年12月25日

2. 定款に定める目的

本法人は難病小児を主たる対象とする自然体験施設の運営に関する事業を行い、難病小児とその家族の「QOL（生活の質）」の向上や心のケアに寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

(1) 難病小児等のための自然体験プログラムの企画及び実施
(2) 難病小児等のための自然体験活動に関する啓発・普及
(3) 難病小児等のための自然体験活動に関する調査及び研究
(4) 自然体験施設の貸与
(5) 農産物及び加工品等の販売
(6) 生活雑貨用品の販売
(7) ロイヤリティー事業
(8) 前各号に附帯又は関連する一切の事業

「そらぷちキッズキャンプ専用建物群」

4. 主たる事務所・支部の状況

「主たる事務所」北海道滝川市江部乙町4264－1
「従たる事務所」なし

5. 役員に関する事項

（平成 31 年 3 月 31 日時点）

役職	氏名	常勤・非常勤	所属（職業）
評　議　員	小林　勝子	非常勤	元 滝川市立病院看護部長
	小林　信秋	非常勤	認定NPO法人　難病のこども支援全国ネットワーク　顧問
	鈴木　忠男	非常勤	滝川市医師会　顧問・医師
	鈴木　洋之	非常勤	PwCジャパン合同会社 顧問 公認会計士
	田村　弘	非常勤	國學院大學北海道短期大学部 学長
	藤井　謙和	非常勤	滝川商工会議所　会頭

	前田　康吉	非常勤	滝川市長
	松本　南海雄	非常勤	日本チェーンドラッグストア協会 名誉会長
	丸山　健	非常勤	丸山健法律事務所 弁護士
代 表 理 事	細谷　亮太	非常勤	聖路加国際病院　顧問 小児科医
業務執行理事	佐々木 健一郎	常　勤	公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ　事務局長
理　　事	木村　節子	非常勤	東海大学医療技術短期大学 小児看護学 講師
	齊藤　ひとみ	非常勤	滝川市立病院看護部長
	笹川　祐子	非常勤	株式会社イマジンプラス 代表取締役社長
	堤　明人	非常勤	滝川市立病院 院長・医師
	文屋　学	非常勤	滝川市医師会　会長・医師
	松本　守	非常勤	株式会社 フジテレビジョン 役員待遇特区事業担当
	三宅　康代 （浅野　房世）	非常勤	東京農業大学 農学部 園芸療法学研究室　教授
	宮本 和俊	非常勤	旭川医科大学医学部 小児外科科長教授・小児外科医
	山内　康裕	非常勤	滝川市　産業振興部 観光国際課　課長
監　事	小嶋　俊明	非常勤	北門信用金庫 理事長
	宮崎　英彰	非常勤	A・I 税理士法人 税理士

６．職員に関する事項

	平成３０年３月	平成３１年３月	平成３１年４月
正規職員数	７名	７名	７名
非正規職員数	４名	６名	８名
合計	11名	13名	15名

Ⅱ.事業の状況

１．事業の実施状況

（１）難病小児等のための自然体験プログラムの企画及び実施（キャンプ事業）

平成 30 年度は、計 9 回のキャンプ（夏季 7 回、冬季 2 回）を実施し、難病とたたかう子どもと家族に対し、かけがえのない時間を提供することができた。

（本年度の年間キャンプ参加者は 265 名、うち病児は 84 名）

なお、9 月上旬に発生した北海道地域における大地震の影響により、計 11 回計画していたキャンプのうち 2 つのキャンプを中止することになった。

「キッズキャンプ（病児のみ参加）」２回

〇サマーキッズキャンプⅠ　7/27～7/30　3 泊 4 日

小児がんとたたかう子ども（寛解期）12 名（居住地域：岡山 1 名、奈良 2 名、滋賀 2 名、京都 2 名、大阪 2 名、山形 1 名、北海道 2 名）

〇サマーキッズキャンプⅡ　8/7～10　3 泊 4 日

心臓疾患を持つ子ども　5 名（試行実施のため、18 名の家族も同行）

（筑波大学附属病院心臓血管外科と共同開催。居住地域は参加者全員茨城）

「すいか割り大会（小児がんキャンプ）」

「流しソーメンでの集合写真（心臓疾患キャンプ）」

「ファミリーキャンプ（家族単位での参加）」１回

〇ウィンターファミリーキャンプ　2/15～18　3 泊 4 日

小児がんとたたかう子どもと家族　5 家族 19 名

（居住地域：広島 2、愛知 1、東京 1、埼玉 1 家族）

「冬の森たんけん（雪が積もったツリーハウス）」

「食堂ホールでの室内カーリング大会」

「レスパイトキャンプ（個別家族参加、主治医同行）」３回

〇6 月レスパイトキャンプ 6/15～18　3 泊 4 日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　3 家族 12 名（居住地域：神奈川 1、埼玉 1、東京 1 家族、横須賀市立うわまち病院、国立がん研究センター中央病院から各 1 名主治医同行）

〇9 月レスパイトキャンプ　9/22～25　3 泊 4 日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　3 家族 16 名（居住地域:栃木 3 家族、栃木のレスパイト施設うりずんの協力により実施、同行医療スタッフ 4 名）

〇10 月レスパイトキャンプ　10/19～22　3 泊 4 日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　2 家族 8 名（居住地域:東京 2 家族、聖路加国際病院 2 名、国立国際医療研究センター1 名の医療者同行）

「ツリーハウス探検（9 月）」

「親子での馬ふれあい（10 月）」

「グループキャンプ（団体単位での参加）」３回

〇医療法人稲生会（札幌）4/28～29　1 泊 2 日　5 家族 18 名

〇滝川市こども発達支援センター夏（滝川）8/18,8/19　日帰り　27 家族 87 名

〇滝川市こども発達支援センター冬（滝川）2/9,2/10　日帰り　21 家族 70 名

「稲生会団体参加の集合写真（4 月）」

「ボランティア募集・育成・活動調整」

〇ボランティア宿泊研修（1 泊 2 日）２回

・11/3～4　36 名参加　　・3/23～24　29 名参加

また以下のボランティア活動ごとに年間を通じて募集・育成・活動調整を行った。

・キャンプボランティア（各キャンプ前に打合せを実施）
・施設維持管理（屋外）　・広報 PR　・人形製作

「専用施設の建設・維持管理」

主要施設群（食堂＆浴室棟、宿泊棟２棟、医療棟（ほけんしつ）、事務棟、ゲストハウス、おおあずまや、倉庫棟）を管理するとともに、車いすで行けるツリーハウスや森、草地の維持管理を実施。また施設利用者が安全で快適に過ごせるよう、適時必要な施設設備の設置や軽微な改修を行った。

（補足）

「自然災害の影響と今後について」

2018 年夏季は、全国的な自然災害が多く発生。一部参加者のキャンプ参加見送りや、9 月上旬キャンプ延期（10 月中旬実施）、10 月上旬キャンプ、1 月下旬キャンプの中止の影響があった。

具体的には、7 月上旬の広島豪雨では子どものみで参加するキャンプ予定者 3 名の居住地近隣で被害が発生したため、7 月下旬キャンプの参加を見送り、2019 年 2 月開催のキャンプに家族一緒に参加。

9 月上旬北海道で発生した大地震では、キャンプ場のある滝川市は震源地から離れているため直接的な被害は免れたが、大規模な停電が発生したため、翌日から開催予定のキャンプは中止とした。（10 月中旬にキャンプを再開催。）キャンプ場の停電は 2 日間続いたが、バックアップ電源が計画どおり作動したことから、万が一キャンプ期間中であっても、安全に過ごせる確証となった。

これからも全国的な自然災害の発生に注視し、安全なキャンプ場運営に取り組む必要があると再認識した。なお、そらぷちではこの経験を活かし近隣の難病家族会や行政機関等との協議を進め、自然災害等による大規模停電の際、医療機器使用者及びその家族の避難所として、キャンプ場活用の準備を始めたところである。

「停電中に稼動した
キャンプ場のバックアップ電源」

(2)難病小児等のための自然体験活動に関する啓発・普及(広報PR事業)

キャンプへの参加希望者や支援者・団体の拡大を目的に、以下の広報 PR を実施。

○アニュアルレポート、振込用紙付リーフレットの制作・配布

○ホームページ・ブログの運営、情報発信

○マスメディア（新聞等）への露出　→HTB（北海道）、フジテレビ（全国）他

○支援団体等主催イベントに PR ブースを出展

6/2,3 コールマンイベント　　8/26 北海道マラソン

2/28～3/3 東京マラソン（関連イベント、沿道応援・交流カフェ運営）

3/14～17 日本チェーンドラッグストアショー 他

○キャンプ場市民開放イベント開催　約 150 名来場

10/8 そらぷちフェスティバル開催（ウォーキングイベント、感謝状贈呈式他）

○遊び広場イベント＠札幌（会場：北海道新聞本社１階）約 100 名参加（ﾎﾞﾗ含）

1/19,20 親子室内遊び・PR ｲﾍﾞﾝﾄ・ﾄｰｸｼｮｰを開催（協力：北翔大学他）

○写真展の開催（8 月札幌、9 月汐留、12 月国分寺）　　○全国各地での講演

○キャンプ場見学の受け入れ　　○その他広報関連事業（募金箱の設置等）

「コールマンイベントでの PR ブース」

「元キャンパーによる御礼挨拶(ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ)」

「遊び場イベント＠札幌」

「東京マラソン・ﾌｨﾆｯｼｭ後の交流カフェ運営」

(3)難病小児等のための自然体験活動に関する調査及び研究(調査研究事業)

全国で開催される関連学会等に参加し、情報交換を行った。

・4/14～16　日本小児科学会＠東京・品川

・9/28～29　日本小児呼吸器学会＠札幌
・11/14～16　日本小児血液・がん学会（日本小児がん看護学会）＠京都

２．シリアスファン・チルドレンズネットワーク（以下ＳＦ）との連携

当財団は故・ポール・ニューマンが創設者である国際的キャンプ団体SFに、正会員として加盟しており、本年度も定期的に、スカイプ会議等で、SFと綿密な情報交換を行った。

特に本年度は、正会員としての義務であるクライテリア（評価基準）についての書類提出（セルフチェック）を行った。なお、正会員資格を維持することで、SF からの寄付分配金や助成金を受け取ることが可能となる。

3. 重要な契約に関する事項

記載すべき事項は特になし

4. 役員会等に関する事項

（1）理事会

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
平成 30 年 5 月 18 日	1. 平成 29 年度　事業報告承認の件 2. 平成 29 年度　決算報告（案）承認の件 3. 平成 30 年6月定時評議員会の件	全会一致で 承認・可決
平成 31 年 3 月 8 日	1. 平成 31 年度　事業計画　承認の件 2. 平成 31 年度　収支予算　承認の件	全会一致で 承認・可決

（2）評議員会

開催年月日	議　事　事　項	会議の結果
平成 30 年 6 月 19 日	1. 平成 29 年度 決算報告承認の件 2. 理事・監事任期満了に伴う役員選任 3.　(常勤)理事の報酬等並びに 費用に関する規程の改正	全会一致で 承認・可決

Ⅲ. 法人の課題

記載すべき事項は特になし

Ⅳ. 決算期後に生じた
法人の状況に関する重要な事実

記載すべき事項は特になし

「車いすのままで行けるツリーハウス」